

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第44週（令和7年10月27日～令和7年11月2日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

インフルエンザの定点当たり報告数が8.47となり、前週の2.16倍に増加しました。本疾患は、インフルエンザウイルスを病原体とする感染症で、主に患者の咳やくしゃみに含まれる飛まつを吸い込んだり、感染者との接触により感染します。感染すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。本疾患を疑う症状が現れた場合は、早めにかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談しましょう。本疾患は、一般的に、症状が出現する前日から発症後3～7日間は、ウイルスを排出するといわれていますので、診断された場合は、外出を控え自宅等で療養しましょう。また、感染予防及び拡大防止のため、手洗い、適切なマスク着用、こまめな換気、咳エチケット等に努めましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	18	626	219	11,643
細菌性赤痢	1	3	3	49
腸管出血性大腸菌感染症	4	248	142	3,596
日本紅斑熱	2	17	23	588
レジオネラ症	3	66	43	2,024
レプトスピラ症	1	1	4	47
アメーバ赤痢	1	19	5	373
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	61	15	1,153
侵襲性肺炎球菌感染症	1	110	31	2,803
梅毒	13	647	182	11,516
百日咳	30	3,069	884	83,843

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	151	1.24	0.73	8,665	2.25
インフルエンザ	1,033	8.47	2.16	24,276	6.29
急性呼吸器感染症	8,165	66.93	1.31	245,331	63.74
RSウイルス感染症	132	1.89	0.78	2,924	1.24
咽頭結膜熱	38	0.54	1.12	587	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	288	4.11	1.20	4,448	1.89
感染性胃腸炎	324	4.63	1.01	8,421	3.58
水痘	19	0.27	1.19	461	0.20
手足口病	39	0.56	2.29	504	0.21
伝染性紅斑（警報レベル）	101	1.44	1.06	1,772	0.75
突発性発しん	25	0.36	1.39	577	0.25
ヘルパンギーナ	14	0.20	1.00	605	0.26
流行性耳下腺炎	3	0.04	1.50	77	0.03
急性出血性結膜炎	1	0.04	0.50	14	0.02
流行性角結膜炎	39	1.50	0.83	671	0.96
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	6	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	27	0.06
マイコプラズマ肺炎	23	1.53	1.92	647	1.35
クラミジア肺炎	0	0.00	－	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	5	0.01